

# 令和元年度事業報告

## I 理事会

開催日	場 所	議 決 事 項 等
31. 4. 1	長野市	理事会（書面表決） ・専務理事の選定について ・事務局長の任免に係る承認について ・評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について（理事の選任・評議員の選任）
1. 6. 5	長野市	理事会 ・平成 30 年度事業報告の承認について ・平成 30 年度収支決算の承認について ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について ・平成 31 年 3 月以降の職務執行状況について（報告事項）
1. 7. 12	長野市	理事会（書面表決） ・令和元年度収支補正予算（案）について
1. 10. 17	長野市	理事会（書面表決） ・令和元年度収支補正予算（案）について
2. 3. 17	長野市	理事会 ・令和 2 年度事業計画(案)について ・令和 2 年度収支予算(案)について ・令和 2 年度資金調達及び設備投資の見込み(案)について ・令和元年 6 月以降の職務執行状況について（報告事項） ・長野県の産業支援機関の在り方をめぐる最近の動向について（報告事項）

## II 評議員会

開催日	場 所	議 決 事 項 等
31. 4. 12	長野市	評議員会（書面表決） ・理事の選任について ・評議員の選任について
1. 6. 20	長野市	定時評議員会 ・平成 30 年度事業報告について（報告事項） ・平成 30 年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について

# 本 部 事 業

## I 産学官交流事業

### 1 産学官金連携支援事業

長野県の経済発展を目指して国から選定された拠点計画と地域戦略の円滑な推進を確保するため、関係機関相互の情報共有及び連携強化を図った。なお、長野県産学官連携協議会は、当面する協議案件がなかったことから今年度は開催が見送られた。

また、長野県ものづくり産業振興戦略プラン及びイノベーション推進事業の円滑な推進を図るため、長野県イノベーション推進本部会議を開催した。

<長野県イノベーション推進本部会議>

開催日	場 所	内 容	参加者
31. 4. 17 ～ 2. 3. 11 (11回)	長野市	・各セクションにおける事業の進捗状況と課題について ・予算の執行状況について ・産業支援機関の在り方検討会について ・令和2年度事業、予算編成について ・テクノ財団事務局会議、理事会、評議員会等について	95

### 2 コーディネータ資質向上事業

財団内外のコーディネータ活動に携わる職員が、次年度の研究開発支援制度に関する情報収集を行い、県内企業がサポイン等の支援制度を効果的に活用して技術高度化に取り組むことを円滑に支援できるようにするための研修を実施した。

<財団内コーディネータ研修会>

開催日	場 所	内 容	参加者
2. 1. 22	長野市	「科学技術振興機構（JST）の令和2年度産学連携事業について」 ～研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）の制度変更について～ （国研）科学技術振興機構 産学連携展開部 マッチングプランナー 青柳 重夫 氏	15

### 3 先進的クラスター連携強化事業

本県とは異なる技術分野での産学官連携技術開発において、優れた成果を上げている先進的クラスターの技術蓄積の中から、本県産業の新分野進出に活用できる新規技術シーズを探索した。

調査日	調査対象機関	調 査 内 容
1. 10. 28 ～	独立行政法人山口県産業技術支援センター（山口県宇部市）	・山口県の「特定名称酒」ブランド化に貢献した産業技術センターの役割
1. 10. 29	旭酒造(株)（山口県岩国市）	・旭酒造(株)の工場内視察

### 4 信州ITバレー推進事業

長野県産業イノベーション推進協議会が策定した「信州ITバレー構想」の実現に向け、構想の推進体制である「信州ITバレー構想推進協議会（NIT）」の設立に向けた基盤整備及び構想に係る情報発信・プロモーションを実施した。

<構想の推進体制構築に向けた基盤整備>

I T事業団体、経済団体、商工団体、産業支援機関、大学・高専等教育機関、金融機関、国・自治体等で構成する信州 I Tバレー構想推進協議会（N I T）を設立した。

開催日	場 所	内 容	参加者
1. 11. 5	長野市	意見交換会の開催 ・信州 I Tバレー構想の概要 ・信州 I Tバレー構想推進協議会（ネットワーク）設置に向けて ・令和2年度の予算・活動	25
1. 12. 19	長野市	設立準備会の開催 ・信州 I Tバレー構想の概要 ・構想イメージの共有 ・協議会（ネットワーク）の当面の活動 ・メンバー参加要件 ・設置要綱(案) ・今後のスケジュール ・協議会（ネットワーク）の名称	25
2. 1. 10	長野市	キックオフ会議の開催 ①協議会の運営・活動 ・信州 I Tバレー構想の目指すもの ・協議会の概要・活動 ②アンバサダーからの応援メッセージ（TV 会議システム） （株）インフォバングループ本社取締役 CVO 小林 弘人氏 ③取組事例紹介	43

< I Tウィンターフォーラムの開催>

国内外の I T人材等が参加する I T系イベントを開催し、国内外に向けて信州 I Tバレー構想の発信をした。

開催日	場 所	内 容	参加者
2. 2. 10	長野市	・オープニングセッション 「信州 ITバレー構想」とは？ ・インスピレーショントーク 「鎌倉資本主義」に学ぶ、企業が地域へ関わる理由とは？ ・トークセッション 「IT 企業が集まる地域をつくるには？」 ・ワークショップ「信州 ITバレー構想キックオフブレスト」	150



<地方創生フォーラムによる首都圏等に向けた情報発信>

長野県と連携し首都圏で開催されるビジネスフォーラム等や経済紙等への掲載により、首都圏に向けて信州 I Tバレー構想の発信・PRを行った。

開催日	場 所	内 容	参加者
2. 2. 17	東京都	日経地方創成フォーラム 長野県知事が構想の内容や取組、長野県の魅力などについて講演し、長野県への I T人材の集積を呼びかけた。	657
2. 3. 13	—	日本経済新聞に特集記事を掲載 ○掲載内容 日経地方創生フォーラムの講演要旨 信州 I Tバレー構想の内容 構想推進に係る各種取組 等	—

<専用WEBサイトの開設等>

WebサイトやSNS等による情報発信により、国内外のIT人材・企業やITを活用したビジネス創出を目指すユーザ企業等に対して効果的に信州ITバレー構想の周知、取組内容のPR等をするため、専用WEBサイトの開設、ロゴ、パンフレットの制作を行った。

完了日	内 容
2. 2. 10	信州ITバレー推進協議会のHP立ち上げ URL : <a href="https://nagano-it.jp/">https://nagano-it.jp/</a> ○ページの内容 トップ、お知らせ、信州ITバレー構想とは、協議会について、活動レポート、セミナー&レポート、お問い合わせ、プライバシーポリシー
2. 2. 10	ロゴの制作完了  <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  日本語ロゴ         </div> <div style="text-align: center;">  英語ロゴ         </div> </div>
2. 3. 30	パンフレットの制作完了

## II 新産業創出支援事業

今後成長が期待される新産業分野（「健康・医療」、「環境・エネルギー」、「次世代交通」）への県内企業の積極的な参入を促進するため、当該分野における産業イノベーションにつながりうる研究開発プロジェクトへの重点的な支援や関連産業・技術の動向調査、市場ニーズと技術シーズのマッチング、各種研究会の開催等の事業を実施した。

### 1 健康医療分野への展開事業

#### (1) 信州医療機器事業化開発センター事業

##### ① テクニカルフィールド育成事業

開催日	場 所	内 容	参加者
1. 7. 5	長野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬機法と医療器の関係 アイホン(株) 古田 美智 氏</li> <li>・医療機器安全規格の概要とポイント 医療機器安全研究所 所長 萩原 敏彦 氏</li> <li>・医療機器ソフトウェア：ライサクルプロセスの概要とポイント 日本光電工業(株) 松元 恒一郎 氏</li> <li>・医療機器の品質マネジメントシステム規格の概要とポイント アイホン(株) 古田 美智 氏</li> </ul>	26

## ② 医療機器開発相談支援事業

### ア 登録アドバイザー

氏名	勤務先	役職	専門
宮坂 強	サムエルプランニング株式会社	代表取締役	医療機器の開発、マーケティング、事業開発など。
萩原 敏彦	合同会社医療機器安全研究所	所長	医用電気機器の安全、リスクマネジメント、電磁妨害、ユーザビリティ、アラームシステム、ソフトウェアなど。
高橋 靖裕	テルモ株式会社	旧愛鷹工場技術部責任者	医療機器製造に関する生産設備の開発、設計。医療機器製造業許可取得に伴う外部移管業務。工場全体の生産活動の生産性向上。5S,TPM 活動の推進など。
山室 雅嗣	株式会社エスプリ	代表取締役	事業開発・サービス開発、価値設計・世界観設計、プロジェクトマネジメント、イノベーションコンサルティング。
喜多村 真	株式会社パララックマ	会長	新規事業プロデュース、シード期事業コンサルティング、ビジネス企画、資金調達。
山越 淳	名古屋国際特許業務法人	弁理士 行政書士	医薬品医療機器等法に関する手続（承認、認証申請手続等）、及び QMS 省令に基づく社内体制構築に対する助言など。特許、実用新案、意匠、商標などの知的財産権。

イ 相談実績 17 件

## ③ 医療機器事業化開発推進事業

医療・ヘルスケア産業分野への新規参入及び事業規模の拡大に積極的な企業をターゲットにコーディネート活動を通じて探索し、長野県における将来的な医療・ヘルスケア産業の振興に寄与すると認められる事業に対して対象事業に係る経費の全部又は一部を定額負担した。

（審査委員会（H1. 8. 5）にて、4 件を採択）

## ④ 薬事承認・資金獲得戦略支援事業

実施内容	実績
薬事戦略に係る相談件数	9 件
保険収載に係る相談件数	7 件
資金獲得戦略に係る支援企業数	3 社

## ⑤ 医療機器開発・事業化ビジネスマッチング事業

回数	期日	訪問企業数
1	1. 6. 3	1 社
2	1. 7. 29	2 社
3	1. 8. 26	3 社
4	1. 10. 3	3 社
	1. 10. 4	3 社
5	1. 10. 23	1 社
6	1. 11. 29	2 社
7	2. 2. 7	2 社
8	2. 2. 29	3 社

## [国内におけるネットワークの構築]

### ア 東北大学病院臨床研究推進センター

当該センターは、PMDAの医療機器審査官のOBをはじめとする薬事・知財等の専門家が揃い、研究のアイデア段階から非臨床試験、企業との連携や知財管理・技術移転、臨床試験、承認審査、実用化までのあらゆる段階での支援を通じた医療機器開発を促進する体制が整備されているため、当該センターとのネットワークの構築に取り組み、講師等をセミナー等に派遣していただいたほか、信州大学との連携協定の締結（令和2年2月13日）を進めた。

### イ 地方独立行政法人長野県立病院機構

医療従事者や患者のニーズを県内ものづくり企業に提供することで、医療現場の課題解決に資する新たな医療機器等の開発・改良につなげることを目的に、当該機構とのネットワーク構築に取り組み、手術現場や病棟の看護現場等、通常では立ち入ることが難しい現場へ、コーディネーターによる視察ができるよう、連携体制を構築した。

### ウ ふくしま医療機器産業推進機構

当該機構は医療機器の開発から安全性評価、事業化までを一体的に支援するふくしま医療機器開発支援センターを運営するため、8月22日にメーカーの研究者や技術者等を対象とした医療機器開発促進セミナーを信州大学で共同開催したり、同機構の安全性試験設備の利用を検討するなど、福島県側との連携強化に取り組んだ。

## (2) 有用微生物応用事業

これまで永年にわたって、県内の食品製造業者は多種多様な発酵食品を作り上げてきた。近年、発酵に係る微生物から新たな機能性が発見されたことで発酵食品としてばかりではなく、化粧品・食品・医療品分野等への応用も可能になってきた。

信州は伝統的な発酵食品の宝庫であることから豊かな地域資源を活用し、新たな産業を創出するために立ち上げた「バイオリソース研究会」の活動を推進した。

また、微生物利用の新たな展開を目指して立ち上げた「新しい日本酒造り研究会」は、乳酸菌 PP165 と長野県酵母を使用した「地域ブランド日本酒造り」を目指した。

### <バイオリソース研究会>

開催日	場 所	内 容	参加者
1. 11. 29	長野市	第1回 ①「発酵食品残渣の再資源化に資する好塩菌を用いた、高機能性アミノ酸の生産」 ② 意見交換 ・令和2年度提案公募の応募について ・D-アラニン生産菌の知財について	9
2. 3. 13	長野市	第2回 ①「好塩性微生物資源を活用した有機性廃棄物のバイオケミカルリサイクル基盤の構築」 ②「マルキ醤油由来乳酸菌（テトラジェノコッカス ハロフィルス）のゲノム解析結果」	10

### <新しい日本酒造り研究会>

開催期日	場 所	内 容	参加者
2. 3. 6	長野市	丸世酒造店の PP165（乳酸菌）利用日本酒の官能評価 志賀泉酒造（株）、丸世酒造店（株）、マルキ醤油（株）、 （公財）長野県テクノ財団	4

### (3) 光触媒技術応用事業（東京理科大学連携強化事業）

平成 30 年度戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）に採択された本事業では、光触媒を利用して単糖類から希少糖を生成する技術が確立されつつある。また、キノコ廃培地の残渣を利用した研究も進んでいる。今後、サポイン事業が進展することで、その事業成果を利用した産業が県内企業に波及することが見込まれる。

### (4) 発酵食品・機能性食品産業集積事業

「老舗中小メーカーの醸造蔵は、固有で、未知の有用微生物の遺伝的宝庫で、有用微生物は地域遺伝資源である。」という認識に立ち、有用微生物の機能性等の解明や遺伝子情報の解読してきた。その結果醸造蔵固有の乳酸菌が多く検出され、蔵の菌叢が明らかになった。また、抗菌性や機能性を有する新規乳酸菌が発見されつつある。

#### <地域遺伝資源活用新商品開発コンソーシアム定例会>

開催日	場 所	内 容	参加者
1. 6. 11	長野市	・令和元年度の実施計画 ・平成 30 年度の研究実績報告 ・新規参画者について	27

#### <地域遺伝資源活用新商品開発コンソーシアム新商品開発検討会>

開催日	場 所	内 容	参加者
1. 10. 1	長野市	・知的財産権について ・有用菌の商品化（活用、知的財産の権利化等）に係る方針・方法について ・新規参画者の報告について ・今後の予定等について	27

## 2 環境・エネルギー分野への展開事業

### (1) SD (Smart Device) プロジェクト

県内企業が製造する製品へ組み込む専用の半導体チップ「マイチップ」を開発するため、信州大学の専門家との共同研究をコーディネートし、その開発・設計を支援した。

また、次世代情報処理技術のテクノロジー戦略にフォーカスし、新たな半導体デバイスの開発につなげるため、関係団体との共催により「長野実装フォーラム」を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者
2. 1. 25	長野市	長野実装フォーラム ①「半導体実装技術の現状と課題」 ②「Computing Reimagined ～A I と量子コンピュータの側面から、コンピューティングの将来を展望する～」 ③「A I ハードウェアの実装技術と設計の課題」 ④「【変える】力と【つなぐ】力で、IoT 実装に革命を～世界初 10 $\mu$ m ピッチ今後の展望～」	55

### (2) 信州MEMS研究会

MEMS技術に関する広範な情報を提供し、新たなMEMSデバイスの開発や用途開発を行う県内企業の取組を支援するため、「信州MEMS研究会」を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者
1. 7. 9	長野市	信州MEMS研究会 ①「圧電薄膜技術とMEMSへの応用」 ②「薄膜・MEMSプロセスを活用したデバイス開発 ～薄膜温度センサ付き工具、三次元複合材料電極の開発事例 紹介～」	29

### (3) SiC パワーエレクトロニクス研究会

これからの技術、ビジネスに大きな可能性を秘めている SiC パワーデバイス・モジュールの県内産業への技術適用の拡大及び社会実装を促進するため、「次世代パワーエレクトロニクス研究会」を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者
1. 8. 2	長野市	第 1 回 次世代パワーエレクトロニクス研究会 ①「Siパワーデバイスの進化とSiCの今後の展望」 ②「GaN半導体への期待とロードマップ」	122
1.12. 5	長野市	第 2 回 次世代パワーエレクトロニクス研究会 ①「 $\alpha$ 型酸化ガリウムパワーデバイスの開発状況と今後の展望」 ②「金属溶解用高周波電源への SiC モジュール搭載」 ③「ECCE2019 (パワーエレクトロニクス国際学会) 参加報告」	95

### (4) 次世代パワーエレクトロニクス事業化促進事業

平成 29 年度に J S T の支援事業が終了したスーパークラスタープログラムへの参画企業等のフォローアップを行い、研究開発成果を利用して事業化を目指す製品の技術開発を推進すべくコーディネート活動を実施した。

### (5) 先端クラスター連携交流事業

(公財) 福岡県・産業・科学技術振興財団及び福岡大学半導体実装研究所／三次元半導体研究センターとのネットワーク強化と 5 G 関連技術について情報交換するため、技術交流を実施した。

開催日	場 所	内 容	参加者
1. 9. 3	工業技術総合センター材料技術部門 (長野市)、 精密・電子・航空技術部門 (岡谷市)	・施設、設備見学 ・NWアナライザ、HALT試験に関するミーティング	6

## 3 次世代交通分野への展開事業

### (1) 航空宇宙産業集積促進事業

航空宇宙産業分野への参入を目指す県内企業の支援ニーズに応じて、参入に必要な関連業界・技術情報の収集、参入に資する研究開発・成果の早期事業化などへの支援事業を実施した。航空宇宙産業集積の取組みにおいて南信州・飯田地域が抱える技術的課題を、長野県工業技術総合センターや他地域の企業や信州大学等を巻き込んで、飯田地域と連携して解決することを通じて、航空宇宙産業集積を県内全域に波及させるべく、以下の取組を実施した。



<技術マッチング支援>

開催日	場 所	内 容	参加者
1. 9. 19	飯田市	SAFRAN 社講演会・情報交流会 講演：フランスの航空機産業とその期待 “ L'industrie Aéronautique Française et ses attentes” SAFRAN 社代表, 日本担当 Mr. Guy BONAUD(ギィ ボノー氏)	53
1. 9. 20	飯田市	SAFRAN 社 エスバード視察および情報交流 ・信州大学 工学部 航空宇宙システム研究拠点 航空機システム部門 ・飯田工業技術センター ・(公財)南信州・飯田産業センター	13
1. 9. 20	飯田市	SAFRAN 社 多摩川精機(株)視察および情報交流 ・多摩川精機(株)第二事業所 ・(公財)南信州・飯田産業センター	9
1. 9. 27	飯田市	海外航空機業界関係者 エスバード視察および情報交流	(2)

<研究開発プロジェクトの企画運営支援>

開催日	場 所	内 容	参加者
31. 4. 4	飯田市	飯田航空宇宙プロジェクト第 88 回会議	(2)
31. 4. 10	飯田市	航空機産業関連講演会	(2)
1. 5. 22	大阪市	関西航空機産業プラットフォーム シンポジウム	(1)
1. 5. 24	諏訪市	航空機システム研究会フォーラム	(2)
1. 5. 28	飯田市	航空機産業中核企業育成事業キックオフ講演会	(2)
1. 6. 25	松阪市	①航空機システム研究会 松阪クラスター 航空機部品生産共同組合視察 ②航空機部品生産共同組合 情報交流	(1)
1. 7. 16	飯田市	航空機産業中核企業育成事業第 1 回研究会	(1)
1. 10. 7	飯田市	飯田航空宇宙プロジェクト第 89 回会議	(2)
1. 10. 10	飯田市	エスバード`拠点連絡会議	(1)
1. 10. 23	飯田市	第 1 回航空機システム環境評価試験シンポジウム	(1)
1. 10. 25	飯田市	(一社)中部航空宇宙産業技術センター 情報交流会 ・エアロスペース飯田 ・飯田航空宇宙プロジェクト	6
1. 11. 14	諏訪市	航空機システム研究会 11 月フォーラム	(1)

<展示会出展支援>

開催日	場 所	内 容	参加者
1. 5. 27	名古屋市	(一社)中部航空宇宙産業技術センター 海外展示会出展に関わる諸事項打合せ	(1)
1. 7. 3 他 2 回	名古屋市	中部経済産業局管内 航空機産業担当者会議	(延 6)
2. 2. 25	飯田市	長野県航空機産業セミナー	(2)

<品質保証規格の取得支援>

開催日	場 所	内 容	参加者
1. 12. 19 ～20	伊那市	JISQ9100 内部監査員養成研修 講師：日本検査キューエイ株式会社(JICQA) 執行役員 審査本部 審査第5部長 鈴木 登志夫 氏	7社 21

(2) 国内外の航空機関連展示会出展事業

世界的な航空需要の増加や国産リージョナルジェット開発により、国内航空機産業への参入する企業が増える中、航空機システム産業の集積を図り、日本で唯一の航空機システム拠点の実現を目指す。そのために、主に海外で開催される国際的な航空機産業関連展示会・商談会へ出展し、県内企業の技術力を大手航空機メーカーへPRすることで、技術マッチングなどに資する企業支援を行う。

<展示商談会参加>

開催日	場 所	内 容	参加者
1. 9. 25 ～26	愛知県	エアロマート名古屋2019 会場 名古屋市中心企業振興会館 吹上ホール <出展支援企業> エアロスペース飯田(飯田市) (株)都築製作所(坂城町) (有)原製作所(上田市) <成果> 商談件数 41件	—
2. 2. 11 ～16	シンガ ポール	シンガポール・エアショー2020 会場 Changi Exhibition Centre <出展支援企業> インダストリーネットワーク(株) 日置電機(株) <成果> 商談件数 46件	—

III 共同研究等推進事業

1 研究開発費獲得支援事業

国や県等の研究開発制度の活用・普及を図るため、各種制度のプレゼンテーションを行った。

開催日	場 所	内 容	参加者
2. 2. 26	長野市	研究開発等支援制度説明会 ①「長野県の支援施策について」 ②「公益財団法人長野県中小企業振興センターの支援施策について」 ③「経済産業省の支援施策について」 ・経済産業省関連予算案等の概要について ・戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)の概要 ④「国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の支援施策について」 ・JSTの令和2年度産学連携事業について ⑤「国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の支援施策について」 《個別相談会》	72

## 2 財団コーディネート活動支援事業

大学等の技術シーズを活用する新技術・新製品の事業化や提案公募に必要な基礎的データの取得のための産学官連携による研究開発を支援するため、該当案件の募集を行ったところ、3件の提案応募があり、3件の採択となった。

## 3 提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業

採択された研究開発プロジェクトに対し、研究活動の推進、進捗管理を行った。

制度名	テーマ	所管省庁等
戦略的基盤技術高度化支援事業	キノコ廃培地からの高純度希少糖生産法の研究開発	関東経済産業局

(注) 研究活動の概要は、Ⅱの1(4)に掲載

## IV 国際展開支援事業

### 1 国際ネットワーク構築・技術交流事業

県内学術機関の研究者の育成と県内への技術展開を図るため、半導体デバイスの開発で連携している研究者1名を選考し、海外で開催される国際会議への派遣を支援した。

- ・対象者：信州大学 大学院 総合理工学研究科 准教授 宮地 幸祐 氏
- ・国際会議名：2019 IEEE Energy Conversion Congress and Exposition (ECCE 2019)
- ・開催日：9月30日(月)～10月3日(木)
- ・場所：Baltimore, MD/アメリカ

### 2 Wiintech 等との国際連携ネットワーク構築支援事業

当財団が平成25年度にMOUを締結したWiintechの参画機関であり、ポルトガルのエンジニアリング&ツーリングクラスター運営の中核を担う機関Pool-net (Portuguese Tooling&Plastics Networking) と、射出成形・金型技術開発をテーマにした技術交流を深めるため、日本への来訪を打診した。

### 3 国際ネットワーク構築・技術動向調査事業

長野県食品製造業振興ビジョンに基づき、新たな食品開発等を支援する一環として、「フードバレー」と呼ばれる産学官のクラスターがあるオランダを訪問し、その中核である大学、フードバレー財団、関連企業等の先進地の現状及び展望の把握、関係者との人脈形成を行い、国際的な連携を深めつつ長野県らしい食と農のイノベーションを生み出すきっかけ作りのため現地視察を実施した。

開催日	場 所	内 容	参加者
2. 11. 25 ～30	オランダ (ワーヘ ニンゲ ン)	<b>【調査事項】</b> ・フードバレーが成功している仕組み 行政による政策意図 マーケティング論等 コーディネート活動による産学官連携等 ・農産物の効率的な栽培方法・技術・スマートアグリ、新品種、 品種改良、育種など研究 ・ビジネス視点でのエビデンス取得、そのプラットフォームと運 営手法 ・医食同源の食品開発の進め方	7

## V 人材育成事業

### 1 グローバル展開実践カレッジ

海外におけるプレゼンテーションを想定した技術者等の英語コミュニケーション力を向上するため、実践的な講座を開催した。

#### (1) E S P (English for Specific Purposes) 講座

- 講師：清泉女学院大学 教授 グレゴリー・バーチ 氏  
清泉女学院大学 非常勤講師 スー・フレイザー 氏
- ゲストプレゼンター：関川 和成 氏

開催日	場 所	内 容	参加者
1. 5. 16	長野市	<第1回> ・「英語による効果的なビジネスプレゼンテーションの作り方」 プレゼン概論、課題提示 ・ゲストプレゼンターによるプレゼン「ESPと私」	延 73  個別指導 受講者 7社・8名
1. 6. 13	長野市	<第2回> ・ゲストプレゼンターによるデモプレゼン ・「英語による効果的なプレゼンテーションの伝え方」 個別指導、フィードバック	
1. 7. 4	長野市	<第3回> ・「英語によるプレゼンテーション実演」 発表者：7名 聴講者とのディスカッション、講評 ・ゲストプレゼンターによる「ESP分野でのAI活用事例」	

#### (2) グローバル技術人材養成講座 (E-mail 講座)

- 講師：椋山女学園大学 現代マネジメント学部マネジメント学科  
スティーブン・E・クアシャ 氏

開催日	場 所	内 容	参加者
1. 9. 27	長野市	「Using E-mail Effectively and Business English」 ・E-mailの上手な作り方 ・Small Talkなど英語コミュニケーションの実践	10

#### (3) グローバル技術人材養成講座 (ビジネス英語講座)

- 講師：信州大学 グローバルマネジメント学部 カチョフ・シェロ・エリス 氏

開催日	場 所	内 容	参加者
1. 11. 7	長野市	<第1回> ・ライティング・リスト作り① ・ミニ講座：英会話の文化的ルールについて	延 15
1. 12. 12	長野市	<第2回> ・ライティング・リスト作り② ・ミニ講座：文化によって異なる説得力	
2. 1. 9	長野市	<第3回> ・まとめと発展練習	

### 2 航空機部品設計人材育成事業

航空機部品の設計・製造に不可欠な3次元CAD (CATIA)に関する知識及び操作の習得のため、研修会を開催した。

開催期日	場 所	内 容	参加者
1. 11. 19 ～22	坂城町	3次元CAD (CATIA) 研修会 講師：ピーシーアシスト (株) パートナー講師 伊藤 裕子 氏	14

## VI 広報等事業

### 1 学会等支援事業

学会、研究会等が実施する産学官連携事業が効果的に実施できるよう共催、後援等の支援を行った。

### 2 テクノニュース発行事業

テクノ財団の理解と事業の周知のため、「テクノニュース」No. 39並びにNo. 40を発行した。

### 3 情報発信サービス充実事業

テクノ財団の理解と事業の周知のため、パンフレット「新産業創出への挑戦」を作成した。また、ホームページ(<http://www.tech.or.jp>)やダイレクトメールなどで財団事業のPRやイベント情報等を提供した。

### 4 研究開発成果等情報発信・普及拡大事業

当財団が進めるプロジェクトや研究開発の成果等を広く情報発信するため、様々な分野の技術情報がグローバルな規模で集まる展示会に出展した。

開催日	場 所	内 容	来場者
2. 1. 29 ～1. 31	東京 ビッグサイト	<nano tech 2020 (国際ナノテクノロジー総合展・技術会議)> 出展内容 ① 信州大学 佐藤・曾根原研究室 ・ SiC/GaN パワーコンバータ用高周波電力用鉄系メタルコン ポジット磁心材料 ② 信州大学 水野・佐藤(光)研究室 ・ 磁束経路制御技術を用いた電気機器の小型・低損失・高効 率化 ③ アスザック(株) ・ 半導体製造工程でパーティクルフリーを実現する高速厚膜 SiC コーティング技術の開発 ④ Spiral Tech(株) ・ 交流損失低減技術とその応用 ～ ワイヤレス給電コイルと モーター ～ ⑤ ナパック(株) ・ 高精度焼結部品 高性能希土類ボンド磁石	名刺交換 等 130  全体 (47,692)
2. 2. 26 ～2. 28	東京 ビッグサイト	<二次電池展 (バッテリージャパン)> 出展内容 信州大学地域イノベーション・エコシステム形成プログラム ・ 信大クリスタルが実現する急速充電 LIB	名刺交換 等 200 全体 (18,506)

参加者計 (延べ) 2,043名